

かい ぎ ろく
会 議 録

<p>かいぎめいしょう 会議名称</p>	<p>だい き さいわいくくみんかいぎ だい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい 第5期幸区区民会議 第8回専門部会「地域力で暮らしやすいまち部会」</p>
<p>にち じ 日時</p>	<p>へいせい ねん がつ にち げつ ごご じ 3 ふん ごご じ 0 ふん 平成27年6月29日(月) 午後6時30分～午後8時00分</p>
<p>かい じょう 場 会場</p>	<p>さいわいくやくしよ かいだい かいぎしつ 幸区役所4階第5会議室</p>
<p>しゅつせきしゃ 出席者</p>	<p>くみんかいぎいん ごじゅうおんじゅん ●区民会議委員(五十音順) いとうよしちいん おのすぐるいん かみやおさむいん さとうれいぞういん たかはしのぞみいん なりかわしんいち 伊藤善通委員、小野偉委員、神谷修委員、佐藤例藏委員、高橋希委員、成川慎一 いん ぶかいちょう ならばやしてるえいいん にしもとまるどにあいいん まついせつこいん ふくぶかいちょう 委員(部会長)、榎林照江委員、西本マルドニア委員、松井節子委員(副部会長)、 むらたせいこいん 村田清子委員 じむきょく ●事務局 さいわいくやくしよ すいしんぶきかくか いまむらけんじかちょう よしおかだいすけかりちょう すずきさとし 幸区役所まちづくり推進部企画課 今村健二課長、吉岡大輔係長、鈴木智 しよくいん うじいえゆりなしよくいん 職員、氏家侑里奈職員 さいわいくやくしよほけんふくしせん たーこうれい しょうがいか おおしろけいこちちやうほさ 幸区役所保健福祉センター高齢・障害課 大城敬子課長補佐 (株)計画技術研究所 阿部 正</p>
<p>けつせきしゃ 欠席者</p>	<p>あおきはるひこいん ふじいてるみいん 青木晴彦委員、藤井照美委員</p>
<p>ぼうちやうしゃ 傍聴者</p>	<p>にん 0人</p>
<p>はいふしりやう 配布資料</p>	<p>ぎじしだい ●議事次第 しりやう ひありんぐちやうさほうこく ほどがやく だいだんちじちかい あん ●資料1 ヒアリング調査報告「保土ヶ谷区・くぬぎ台団地自治会」(案) しりやう こんご とりくみ ほうこうせい かくにん ●資料2 今後の取組の方向性の確認について しりやう ちやうないかい じちかい かにゆうそくしん おも とりくみ ●資料3 町内会・自治会への加入促進につながる主な取組について しりやう そうだんまどぐち じれいなど ●資料4 相談窓口の事例等について しりやう ちいきりよく く ぶかい ちやうさしんぎすけじゅーる あん ●資料5 「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール(案) しりやう だい きさいわいくくみんかいぎ すけじゅーる あん ●資料6 「第5期幸区区民会議」スケジュール(案) ほか だい きさいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ●その他1 第5期幸区区民会議第7回専門部会(地域力で暮らしやすいまち ぶかい てきろく あん 部会)摘録(案) ●その他2 ほか だい きさいわいくくみんかいぎいん さんよめいぼ 第5期幸区区民会議委員・参与名簿</p>
<p>ぎ だい 議 題</p>	<p>1 ひありんぐちやうさなど ほうこく ヒアリング調査等の報告について 2 こんご とりくみ ほうこうせい かくにん 今後の取組の方向性の確認について 3 こんご すけじゅーる 今後のスケジュールについて</p>
<p>けつていじこう 決定事項</p>	<p>1 こんご とりくみ ほうこうせい 今後の取組の方向性について ・資料2の「2方向性(パターン2)」を基本とする。 ちいきこみゆにてい かつせいか こそだ しえん ぐたいてき にーず たい ・「地域コミュニティの活性化」については、子育て支援の具体的なニーズに対す ちやうないかい じちかい とりくみ わか ひと ちやうないかい じちかい かにゆうそくしん てん ぶ る町内会・自治会の取組、若い人の町内会・自治会への加入促進の2点を踏 まえた内容を追加整理するとともに、提言に向けて全体を再整理したものを ないよう ついかせいり ていげん む ぜんたい さいせいり 事務局がまとめ、次回部会にて提示する。</p>

1 ヒアリング調査等の報告について

- 資料1について伊藤委員（ヒアリングリーダー）が概要を説明した。
- くぬぎ台団地自治会のヒアリング結果を共有するとともに、意見交換を行った。

【くぬぎ台団地自治会の取組について】

- ・「れんらくカード」で得られた情報は、災害時に活用するものなのか。それとも日常的な見守りで活用するのか。また、「命の笛」は日常的な見守りにつながるのか。
- ・「れんらくカード」は災害時に活用するものであるが、作成に当たっては、70歳以上の高齢者を対象にして、年に1回訪問して情報を更新していることから、見守りにつながっているともいえる。記入した情報が他の目的で使われないよう、自治会が厳重に保管することが、情報提供する上での安心感につながっているのではないかと。また、「命の笛」は何かあったときに気付いてもらえるためのものである。

2 今後の取組の方向性の確認について

- 資料2、3、4について事務局が説明した。
- 資料2の内容等を踏まえて、今後の取組の方向性について意見交換を行った。

【幸区ご近所支え愛モデル事業について】

- ・「幸区ご近所支え愛モデル事業（以下「モデル事業」）」について、日吉地区の町内会連絡協議会にて説明したということだが、どういう反応だったか。
→モデル事業の取組自体よりも、地域包括支援センターが運営する会議とどう違うのかという質問が多かった。地域包括支援センターの会議では地域課題解決のための検討を行っており、目的はモデル事業と同じである。大きく異なる部分は、モデル事業は生活に課題を抱えている人に対してプランをつくり、地域の人が実行するという点である。（事務局）
- ・モデル事業の成果をまとめた事例集の主たる配布先はどこか。
→地域包括支援センターや全町内会・自治会に数冊ずつ配布したいと考えている。（事務局）
- ・モデル事業で作成する事例集は、取組や効果を事例としてまとめたものになる。区民会議としては、区民の視点に立って区の取組をまとめたものをリーフレットなどにして活用すると、更に取組が理解され広がっていくのではないかと。（事務局）
- ・モデル事業は始まったばかりなので、これから課題が出てくると思っている。日頃からコミュニケーションが希薄な人が支援対象者の場合などには、どのように対応するのか、その都度議論できれば良いと思っている。モデル事業の推進に当た

っては、必要に応じて専門家も会議に出席してもらい、議論を行う予定である。

(事務局)

- ・モデル事業の目的は地域の支え合いになるので、専門家ではなく、あくまで地域の人が支える必要がある。
- ・モデル地区における取組内容については、ある程度自由に実施できるのか。
→モデル地区の考え方で、柔軟に対応していくことは可能であると考えている。

(事務局)

【町内会・自治会を中心とした見守り活動を試行実施することの可否】

- ・東小倉町内会については、モデル事業のモデル地区になっているため、本部会における試行実施は難しい。
- ・古市場1丁目町会では、同じような取組として、地域包括支援センターと連携して、対象者を限定しない緊急れんらくカードの作成を行っているため、試行実施は難しい。

【今後の取組の方向性の確認について】

- ・本部会の審議内容とモデル事業は違うと思う。同じように見えるが、本部会の審議内容の方が対象を広く捉え、幸区全体のことを考えていると思う。
- ・部会でも試行実施することにしていたので、そういう意味ではモデル事業と同じといえる。モデル事業は個人を対象に見守りを行うので、少しアプローチは違うが、目的や実施内容はほぼ同じだと思う。
- ・暮らしやすいまちをつくっていくためには、町内会・自治会、民生委員、老人会等が同じ土壌で連携することが必要だと思う。モデル事業でもそれを目指しているので、良いと思う。
- ・具体的な取組内容が見えていないが、地域包括ケアシステムの構築に当たって、町内会・自治会の役割は大きい。地域特性を踏まえつつ、町内会・自治会、民生委員、地域包括支援センターが協力して進めていく必要がある。部会の方向性はモデル事業と同じだと思うが、何か形になるものがあると良い。第4期の提言で作成されたパンフレットを活用しても良いと思う。
- ・今後の取組の方向性については、基本的にはパターン2（地域コミュニティの活性化へのシフト）とする。
- ・モデル事業で把握した課題などを、本部会も情報共有できると良い。
- ・モデル事業の目的は理解できたが、結局は町内会・自治会が活性化していないと、見守り等の取組が進まないで、そういった意味では本部会の役割もあると思う。
- ・次回の全体会議では、取組内容を発表する必要があるので、本部会としてはモデル事業をサポートするといった形でも良いと思う。

【地域コミュニティの活性化について】

- 資料3の町内会・自治会への加入促進につながる主な取組を見ると、高齢者に関する内容が多い。障害者や子どもを対象にするという議論がこれまであったが、考えなくて良いのか。
- 高齢者の加入促進も大事だが、若い人にも加入してもらうことも必要ではないか。
- これまでのヒアリング内容を踏まえて、収集した事例を紹介する、もしくは、若い人の加入促進を目的として事例を再整理する等、どのように提言につなげるか考えていく必要がある。(事務局)
- 高齢者同士の支え合いも重要だが、支え合う関係の中に若い人も関わっていかないと、高齢者と若い人の間で溝ができてしまうと思う。町内会・自治会の加入に向けて、若い人への声掛けやアピールが必要だと思う。
- 若い人とつながるきっかけがほしい。地域力には子どもや若い人の力も必要である。
- 全体の再整理を含め、子育て支援の具体的なニーズに対する町内会・自治会の取組、若い人の町内会・自治会への加入促進の2点について、事務局にまとめてもらいたい。

3 今後のスケジュールについて

- 資料5及び6について事務局が説明した。
- 第9回専門部会は、平成27年7月24日(金)18:30からとする。
(場所：幸区役所3階ホール)
- 第4回区民会議は平成27年8月31日(月)開催となるため、次回専門部会では、本部会の報告内容の発表者を決定するとともに、報告内容案についても意見交換を行う。